

補綴装置と歯周組織の接点 ～歯肉縁下カントゥアによる軟組織マネジメント～

歯周組織は補綴装置の歯肉縁下カントゥアに対し、ある程度の許容範囲をもつ。しかし、この形態が歯周組織に与える影響は非常に大きく、ときには辺縁歯肉の炎症や形態不良等を引き起こすこともあり、それが審美歯科治療の結果を大きく左右する。

本講演では、歯肉縁下カントゥアによる辺縁歯肉マネジメントと歯周組織に調和した補綴装置を製作するにあたり、歯科医師と歯科技工士が留意すべき点について考える。